

令和8年 第5回八雲町議会全員協議会会議録

令和8年3月12日 議員控室

○協議事項

(1) 3月10日北海道新聞に掲載された秘密会の取り扱いについて

○出席議員（14名）

大久保 建 一 君	宮 本 雅 晴 君
赤 井 睦 美 君	三 澤 公 雄 君
横 田 喜世志 君	黒 島 竹 満 君
関 口 正 博 君	牧 野 仁 君
安 藤 辰 行 君	斎 藤 實 君
水 野 博 美 君	寺 田 広 樹 君
小 西 雄 一 君	倉 地 清 子 君

○欠席議員（0名）

○出席事務局職員

事務局長 野 口 義 人 君	事務局次長 藤 原 悟 史 君
庶務係長 千 代 貴 大 君	

◎ 開会・議長挨拶

○議長（大久保建一君） おはようございます。朝の忙しい時間帯を拝借いたしまして、ありがとうございます。議長挨拶は、割愛させていただきたいと思います。

◎ 協議事項

○議長（大久保建一君） 3番、協議事項。3月1日および今日の北海道新聞にも掲載されました、秘密会お取り扱いについてということで議題とさせていただきたいと思います。

まず、私のほうから、この会議の開催理由につきましては、3月10日の北海道新聞に掲載されました、2月20日および3月4日に開催した総務経済常任委員会を秘密会と過剰の取り扱いについて各議員の捉え方の違いがあり、問題提起されていたことです。新人議員もいることから、秘密会の運用についての共通認識を持つ必要があると考え、今回開催させていただきました。

今回の秘密会とした経緯は、2月20日の会議開催の前日にテレビ局 HTB のほうからカメラ撮影の取材依頼があったことから、その映像の中に招致した民間事業者が出ることでのプライバシー問題が発生することが一つの理由であり、もう一つが設計書の積算の積み上げの数字が説明される可能性があったことから、今後の町側の委託業務や工事入札に影響を与える恐れがあるという判断により、秘密会として委員会を運営したところであります。

次に秘密会の解除につきましては、最終的に2月20日の第1回目の秘密会での話し合いの内容、また、そこで出た疑問点の確認のための資料要求を行い、継続して秘密会を行った3月4日の資料提出にあたっての町側から受けた説明およびその資料内容についても、今後の入札に影響を及ぼす可能性がないと判断していたこと。

もう一つの承知した業者に対するプライバシーの問題については、事業者自らがメディアに対してオープンに取材を受ける対応があったことから、議会として配慮する必要はないものとして、秘密会を解除して会議を終えました。

しかしながら、その秘密会の解除がそれぞれの議員の捉え方に違いがあったことと、また報道機関側の解釈が会議録の公表がされたタイミングとしていることでの指摘をされたところです。

原則、公開であるべき議会活動を秘密会にすることの重大さを十分理解して手続きに細心の注意を払うべきだったこと。また、解除の認識が統一されなかったことなど反省すべき点は多く、議長としての至らなさを痛感しております。

今後の取り組みといたしましては、秘密会の運営、運用に関するガイドラインを整備して、透明性を確保するための基準を明確にすることが重要と考えております。それについては、議会運営委員会で今後協議をしていきます。以上でございます。

これで、共通の認識を持っていただきたいと思いますけれども、これにつきまして、ご意見等あれば承りますけれどもいかがでしょうか。

○議員（横田喜世志君） 議長、横田。

○議長（大久保建一君） 横田議員。

○議員（横田喜世志君） なんだろう。20日の秘密会っていうのはわからないわけじゃないんです。ただ、その後ですよ。そこに集ってる人は、秘密にしなきゃいけないはずなんですよ。

○議員（斎藤 實君） そうですね。

○議員（横田喜世志君） そうすると、例えば二本柳さんが報道に対して答えるとか、もしくは数名の議員の方答えてますよね。やっぱり秘密会だったっていう認識がなかったのかなと思うんだけど。

○議長（大久保健一君） 一般の二本柳さん側にその認識がなかったかどうかってことですか。

○議員（横田喜世志君） だから、そういうのをちゃんとやった中での開催っていうものが必要だったんですよ。秘密会っていう扱いの、秘密会にする定義というかね、秘密にしなきゃならないっていう中身の場合、戻しちゃいけないわけだからそこら辺をやっぱりちゃんと統一したほうがいいし。

○議長（大久保健一君） 私から言っていていいですか。その認識については、我々今後議会の中で行う委員会。例えば今回秘密会にしたんですけど、その効力が一般人にまで及ぶかどうかっていうのはわからないんですけども。

ただ、横田議員が言ってることも最もだと思いますので、その取り扱いについては、今後、議会運営委員会の中で、原則公開である議会活動を秘密会にするっていうのはとても大変なことだと思いますので、それらを参考にして協議してまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

○議員（横田喜世志君） それと、もう一つ。3月4日に解除したっておっしゃられるんですが、私はその認識ちょっとなくて。秘密会にするっていうときもそうなんだけど、例えば議員の2/3の賛同がなければできない。要は、ちゃんとそこで秘密会だとか解除しますっていう全員が認識するような進め方をしないから、ぐちゃぐちゃになってるのかなっていう。

○議長（大久保健一君） それも最もだと思います。例えば今回、進め方の中で秘密会にするっていうときも委員長がお諮りして、それで異論がなかったんでそのままだったっていうかたちなんですけど、例えば、今後議論の中で協議していくんですけど、例えば全員挙手していただいて、はっきりと意思を明確にした上でするか、解除するなら解除した後にはちゃんともう一度文書で回すとか、何かしらきちっとした意思を統一することが必要だったのかなと反省しておりますので、その辺はもちろんそういった意見を取り入れながら、今後考えていきたいと思います。

○議員（斎藤 實君） 議長、斎藤。

○議長（大久保健一君） 斎藤議員。

○議員（斎藤 實君） 今、議長がそのように言ってるんでそれは尊重します。ただ、一言苦情を言いたいのは、議会側から秘密会っていうことに進め方を提案するときに、発議はやっぱり議員の3名の方の発言が必要になるんです。

それで、あとは出席議員の2/3が必要ですと。これで、秘密会の方向に持っていけるわけです。また、もう一つは議長は議長の判断でやれるものというのも僕は介しているから、その辺のところはきちっと認識に持っていかなければ、今後大変なことになるなど。

それと、秘密会にする以上は、そこで知り得た情報っていうのは、きちっと議員全員がね、やはり外に出してはならない情報ということになっているわけですから、そういうモラルをきちっと議員14人が持ってもらわないと軽々に秘密会、秘密会って簡単に言うかもしれませんけれども、後で解除できるぐらいの秘密会であれば、秘密会でない方法を選んだほうが制約しながらやったほうがいいんじゃないのかなと。秘密会っていうのは非常に重いんですよ。

それで、新聞報道であれだけボンボンボン出てます。今日も出てました。今、先ほど議長言いましたように、そしたら八雲町はどうなってるのよと。こういう捉え方って日本全国の議会の皆さん、あれ見たらね、びっくりすると思いますよ。議事録公表までするわけですから。

だから、冒頭に議長がおっしゃったように今後の問題として、これからどうしていったらいいのかということで私は収めたいと思いますけれども。今回は、1人のよその議会の議員に、お前ら何やってんのよと言われましたよ。八雲も賑やかになりましたねと、そう言われました。

だから、今後議長のもとでこれの扱い、進め方、そういうものをきちっとしていただければいいのかなというふうに思います。

○議長（大久保建一君） はい。最も議員生活の長い斎藤議員の言葉として重く受け止めたいと思います。

○議員（黒島竹満君） はい。

○議長（大久保建一君） 黒島議員。

○議員（黒島竹満君） 先ほどから議長の説明を聞いて理解はできるんだけど、まずは、その前日っていう話ですよ。決断したのは。

○議長（大久保建一君） 決定したのは総務委員会で決定したんですけど。

○議員（黒島竹満君） 議長と議会運営委員会か何かわかんないけども、結論出したのが前日っていう。

○議長（大久保建一君） いや、結論出したのは当日です。前日テレビ取材が入ると申し出を受けたという前日。

○議員（黒島竹満君） ただね、結局その流れ的にさ、やっぱりきちとした流れというかね。今、議長が説明したような内容をちゃんと説明して、そして全員協議会にかけて、そしてどうですかって言うんならわかるけども、ただ来て、それこそ秘密会っていうだけの話で、確かにあったはずだ。

だから、内容はわかんないはずだよ。ほとんどの議員が。

○議長（大久保建一君） なぜ秘密会にするかみたいなこと。

○議員（黒島竹満君） そういう内容をきちっと話して、そして賛同してやらないと。そうすると14人の議員がこれは秘密会だから大事なことだよと。だいたい報道陣はそこにいるんだからさ。いるのにさ、出ていけばインタビューに答えたりなんなり、そういうことだってやったわけでしょ。

だから、そういうことだって本来であればできない話なんだ。それを最初の秘密会にするっていう部分をきちっと説明して、意思決定をしてやらないからこういう状態になったと思うんだよね。

秘密会の解除っていうのはさ、する必要あんの。

○議会事務局長（野口義人君） 解除ですか。

○議員（黒島竹満君） 秘密会はあくまでも秘密会だから、最後まで秘密会になんないとなんないんでないの。

○議員（斎藤 實君） そうそう。

○議員（黒島竹満君） それをさ、解除するっていうからそういう問題が出てきてるわけでしょ。その辺をきちっとやっぱり捉えてやらないから、こういうかたちになってるわけでしょ。だから、秘密会を解除する自体おかしいと俺は思うんだよ。最後まで秘密会なんだから、秘密会にしとかなきゃなんない話だと思うんだよ。

だから、もうちょっと事務局のほうもその辺はきちんと判断してあげないと、こういうことが今後も起きる可能性もあるから。秘密会はあくまでも大事なことから、これは中からは外に出せないことだから、秘密会というかたちになってる。それだけはやっぱり14人議員がさ、やっぱり考えておかないと。

○議長（大久保健一君） はい。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（大久保健一君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） 急遽決まったんですよ、秘密会。20日の朝9時5分に僕のところに電話がかかってきました。

今日の総務常任委員会は中止します。午後1時に二本柳さんが来るっていうもう予定で動いてるものを朝9時に中止しますっていう連絡が始まったのが秘密会になっていった流れの発端です。

だから、秘密会というかたちになったにせよ、開いたっていうことがこの八雲町議会のメンツをкаろうじて保っていると僕は思います。全てのことを説明しないと、部分的に秘密会の扱いだけを議論していくと、今回の問題の全容を把握したことにならないので、先ほどの報道云々っていう、入札に関わるっていう云々で、いつの段階かは知りませんが急遽辞めようという動きが。議長も理解して進めたんでしょね。

僕には報告として、9時5分に休会します。それを僕はとんでもないことだと。どんなハレーションが起こるかかわかんないよと。二本柳さんは、議会に呼ばれて喋るっていうことをかなり腹をくくってね、前日に副町長に仁義切りましたって言ったんですよ。議会の証言をするっていうことで、議会の日程を決めてもらうって向こうから連絡が来た。なんちゅう言葉遣いかなと思ったんですけど、議会に呼ばれましたので、私の知っていることは全て話しますからね。相当な覚悟を持ってたんだと思いますよ。

それが、当日の朝9時に休会しますっていう流れになったんで、これはえらいこっちゃ。だから僕のほうで電話かけてきた局長の方に、秘密会っていう方法があるじゃないかと。その報道を嫌うなら。僕のほうから進言はしました。そういった流れを省いて説明すると、せっかくこれだけの議員が集まっているのに、誤解の上乗りになるんでね。

これからの八雲町議会がどうあるべきかっていうことを議論する上では、しっかりと話し合いのもとに、単なるルールの確認ではなくて、この2月20日にいただいた証言と、3月4日町から出てきた資料で裏付けられたことと、裏付けられなかったこと。そういったことも含めて八雲町議会がしっかりと受け止めないと、どんな批判の矛先が八雲町議会に向いてくるかわかりませんので、そういった意味の僕は全協にはなるのかなと思って、今まで見てましたけど、ちょっと削れてる角、まだまだ説明が足りないところもあったんで、僕のほうから加えてみました。

○議員（斎藤 實君） ちょっと議長、確認。業者を誰が要請したんですか。

○議長（大久保健一君） 業者は三澤議員です。私の記憶ですよ。私の記憶の中でいけば三澤議員が呼びたいということで、総務委員会の中で諮って、それで進行したと私は記憶してますけど。

○議員（三澤公雄君） 総務常任委員会の中で、庁舎問題を全協で話し合う場でしかないんで、調査を可能にするには、総務常任委員会でも新庁舎問題を扱えるようにしましょう。数回前の常任委員会のときに発言し、それが総務常任委員会と決まって。

なので、調査活動として、調査に協力できる人としてコネクションをいろいろたどりながら、一方の当事者である。

○議員（斎藤 實君） 要請はきちっと総務常任委員会の委員長から文書か何かで要請したんですか。

○議長（大久保健一君） 私は把握してない。

○議会事務局長（野口義人君） はい。要請しております。

先ほど三澤議員のほうから一部2月20日の話が出てましたけど、私そこで正副委員長、正副議長を集めた中で話し合いをした中で、中止の一応仮定としては、今回の総務経済常任委員会の中で正式に業者を呼ぶと承知するということが議論されないまま一方的にちょっと動いた部分もあったんで、確かに業者には声かけてる段階ではありましたが、皆さんの中で経済常任委員会で一度揉んでから答えをもう一回必要であれば承知さんはよろしいのかなということ、中止すべきということで三澤議員にはご連絡したところございました。

○議員（斎藤 實君） だけど、そのやり取りはわかった。でも、秘密会っていうのであれば、秘密会のルールぐらいきちっと守らなければどうしてもできないでしょ。

○議員（黒島竹満君） はい。

○議長（大久保健一君） 黒島議員。

○議員（黒島竹満君） 今三澤くんが言ったんだけどね。三澤君が呼んだんであれば、それはいつの時点で委員長のほうに。

○議員（三澤公雄君） 呼んだんじゃないですよ。そういった証言が議会でできませんかっていうコネクションを作ったんですよ。

○議員（黒島竹満君） もらったのはいつ。相手側から。

○議員（三澤公雄君） いつだっけ。

○議員（黒島竹満君） 委員会の委員長に持っていったのがいつなのさ。

○議員（三澤公雄君） 10日ぐらい前ですよ。2月。

○議会事務局長（野口義人君） 2月16日。

○議員（三澤公雄君） 文書を出す要請は16日月曜日。

○議会事務局長（野口義人君） 16日月曜日全協終わった後に。

○議員（黒島竹満君） それだけの時間があるんであれば、ある程度（聞き取り不能）それこそ議員に連絡して、こういうことの話ぐらいはちゃんときちっと。

○議員（三澤公雄君） 僕は総務委員長に。

○議員（黒島竹満君） 総務委員会もそうだし、局長のほうもやっぱりそれだけの時間があるんであれば、ちゃんとやっぱりそんな大事なことから、それであればちゃんと前もって話してさ。そして、各党派で集まって協議して来てくださいとかさ。そのぐらいのことをやらないとき。だから朝来てさ、いきなり秘密会だよとかさ。

○議員（三澤公雄君） 秘密会は本当に朝突然で、それは僕も知りません。

○議員（黒島竹満君） そんな議会運営ってないよ。それはやっぱり考えないと。

○議長（大久保健一君） まず、とりあえず皆さんの意見を承りたいので。

○議員（寺田広樹君） はい。

○議長（大久保健一君） 寺田議員。

○議員（寺田広樹君） 新人からの2月20日と4日についての印象なんですけども、印象っていうか思ったことなんですけど。まず、20日ちゃんと委員長がこういう理由で秘密会しますっていうのはあって、皆さんそれでいいですかって、はいと返事した記憶にあるので、その時点でもうこれは成立してるんだなと。確かにその時点2/3以上は。

○議員（斎藤 實君） 出席議員だから。

○議員（寺田広樹君） 出席議員だから。

○議員（斎藤 實君） 大丈夫大丈夫。

○議員（寺田広樹君） あるっていうのは思いました。

先ほど言った、斎藤議員の僕も今回の秘密会を変えることをちょっと調べたんですけど、発議3回は必要だっていうのはちょっと出てこなかったんですけど、それは確かなんですかね。

○議員（斎藤 實君） 議員が●●するときね。

○議員（寺田広樹君） 3回は。

○議員（斎藤 實君） 3回でなく3人。

○議員（三澤公雄君） 僕も初めて聞いた。

○議員（寺田広樹君） ちょっと僕が調べた中でそれが出てこなかったの。

○議員（三澤公雄君） 緊急討議でさえ、賛成派者は1人いればいい。

○議員（寺田広樹君） そこはちょっと確認できなかったんですけど、2/3っていうのは出てましたけれども、その時点で成立してる委員会だっていうのは思いました。2月20日はね。

それで、3月4日の解除。これもまた委員長から終わった後、こういう理由で業者に影響もない。調べたときでも解除できる理由としては、影響を及ぼさないという環境になれば解除できるっていうのが書いてありました。そういうふうを考えれば、正當かなと思いました。

その後も、諮ってよろしいですかって、皆さん、はいって言う。その後ももらいましたよね、返事。

○議員（牧野 仁君） はい。

○議員（寺田広樹君） それでもう成立してると。その解除した後、いろんな事務局と他何人か議員さんに秘密会の内容って解除した後話せるんですかって、一般人含めって聞いたときに、そのときは数名は皆さん大丈夫じゃないかっていうのを聞いてますので、5日の一般質問の三澤さんがこの秘密会の内容話してたかは確認してないんですけど、話してたとしても正當、大丈夫なのかなっていうのは思ってます。

○議員（三澤公雄君） 僕を心配してくれるのはありがたいんだけど、僕が批判の対象になるとしたら、当日のHTBの取材に会議終わった後に内容は喋ってないんだけど、外から確認したことが映像が流れちゃってる。僕はそういう取材。

○議員（寺田広樹君） それ20日のときの取材なんですか。

○議員（黒島竹満君） 解除する前でしょ。

○議長（大久保建一君） 私自身その三澤くんのインタビューに答えてた映像を私自身は見てないので何とも言えないんですけど、ただいずれにしても寺田議員が言うとおりの、総務委員会では確かに皆様にお諮りした上で秘密会をすることと、解除することはお諮りはしてるんですよ。

ただ、やはり秘密会っていう重要性を考えた場合に、もう少し丁寧にやるべきだったなっていうことは当然反省しなければならぬと私は思います。

なので、これについては、今後重要な取り扱いなんだっていうことを議会運営委員会の中でしっかりそのルールを定めてやっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。今委員会開催前の時間のない中で、急遽開かせていただいたものでこのような考えで進めていきたいと思っております。それについて、皆さんよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○議員(三澤公雄君) 一点。

八雲町議会のメンツ保とうとするんならね、僕たちに隠し事をしてあったっていうことをわかるきっかけとなった2月20日の会議が何を心配したか知らないけど、閉会しようとした動きと。そして、話された内容を証言としての能力を限りなく小さくする可能性を秘めていた秘密会にしてしまったっていうことを別な角度からも反省しなきゃいけないんじゃないですか。八雲町議会というメンツを保つのであれば。今方向、かじ取りをね、もう一度修正するチャンスだと思うんですよ。町の説明が筋道だっているという理解をする議員もいるかもしれません。いても当然でしょう。

だけど、僕たちが議会の努力で隠されたことがわかるそのきっかけを作った2月20日のアクションをもう少し肯定的に見るっていうことをしないと、これから八雲町議会のメンツが保てるのかっていうこともそういった面でも考えてもらわなきゃいけないと思うんです。

○議員(赤井睦美君) はい。

○議長(大久保健一君) 赤井議員。

○議員(赤井睦美君) 理解力のなさもあるんですけど、私は隠されていたっていう受け止めは全然してないんですよ。

○議員(斎藤 實君) 私もしてない。

○議員(赤井睦美君) だから、議会がそれを掘り起こしたっていうか、隠してたものをベールをはがしたとか、そんな感覚は私の中にはないんで、やっぱりそれを押し付けるっていうのはどうかなって。

もしかして私1人かもしれないけれども、そういうのはないかなって思います。

○議長(大久保健一君) 私自身もそのように感じております。

○議員(関口正博君) はい。

○議長(大久保健一君) 関口議員。

○議員(関口正博君) 僕は議長を同じ会派なんであんまり言いたくなかったんですけど、正直こんなことを秘密会にする必要があるのかっていうふうに最初から思ってたんで、三澤さんの考え方そのもの、角度というか僕はちょっと違うんだけど、町が隠してるとか議会が掘り起こしたということではないんだけど、全ての情報なんてものは別に公開されるべきであって、僕は今回の一連のお話そのものが別に秘密にする必要性など一つもないって僕は思ってますよ。

そもそもだから、秘密会にするっていう判断。そもそも論になっちゃうんですけど、それが誤りであったと。これは僕は個人的に議長には言ってますけど、そこはそういう考え方の議員がいるということもわかっていたきたいなど。そもそも、秘密会にしちゃったことで、僕も今朝地方の議員から、何やってんのっていうふうに。こんなことで2回も記事になってしまうこの八雲町議会、ちょっと恥ずかしいなというふうに僕は思ってます。正直。そこはしっかり秘密会にする以前の問題のことをちょっとお話して。

○議員(斎藤 實君) あと議長に冒頭でお話ししたとおり、お願いします。

○議長（大久保建一君） まあ、それらの意見も踏まえ、今後議会運営委員会でガイドライン作成に進んでいきたいと思っております。

ただ、私の気持ちをもう一度言わせていただくと、やはり委員会とか何とかに公人である我々はいいんですけども、一般人が参加するっていうことについては、一定の配慮は必要なのかなと思っておりますので、それだけ申し上げたいと思います。

あと、なければ、このまま終わりたいと思います。よろしいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） それでは、以上で全員協議会を閉会いたします。

〔閉会 午前9時57分〕